

農林水産統計調査におけるPDCAサイクル点検・評価チェックリスト

政府統計コード	00500215
基幹・一般の別(選択記入)	基幹統計調査
調査の名称	作物統計調査（令和2年産大豆の収穫量）
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他（現状把握や大豆関連の施策立案の参考資料等として活用）
特記事項	

I 調 査 計 画 と の 整 合 性 確 保 等 の 観 点	点検・評価事項等	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況			
	点検・評価項目	整合／不整合 (選択記入)	「整合／不整合」欄が「不整合あり」の場合、 その概要等(選択・自由記入)		対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
	1 調査の目的	整合	結果の利活用実態	その他（ ）			
			(特記事項)				
	2 調査対象の範囲※	整合	調査対象地域	調査対象産業			
			その他（ ）				
			(特記事項)				
	3 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等※	整合	母集団情報	抽出方法・抽出基準			
			全数層・抽出層の設定	対象数の算定			
			その他（ ）				
(特記事項)							
4 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間※	整合	調査票	調査事項				
		調査期日・期間	その他（ ）				
		(特記事項)					
5 報告を求めるために用いる方法※	整合	調査方法	調査系統・組織				
		民間委託の範囲	その他（ ）				
		(特記事項)					
6 報告を求める期間※	整合	調査実施期間(始期・終期)	調査票の提出期限				
		調査の周期	その他（ ）				
		(特記事項)					
7 集計事項※	整合	未集計	未公表				
		復元推計	その他（ ）				
		(特記事項)					
8 調査結果の公表の方法及び期日※	整合	公表実施時期	公表媒体				
		e-statの掲載	閲覧表				
		その他（ ）					
		(特記事項)					
9 使用する統計基準	整合	独自基準の採用	独自基準の説明				
		その他（ ）					
		(特記事項)					
		調査計画上、統計基準を使用することになっていない。					
10 調査票情報の保存期間及び保存責任者	整合	保存期間	保存責任者				
		保存方法	その他（ ）				
		(特記事項)					
11 立入検査 (基幹統計調査のみ)	整合	立入検査対象事項	その他（ ）				
		(特記事項)					
12 不整合は生じていないものの、 改善を検討（予定）している事項		検討（予定）している事項の有無 (選択記入)	検討（予定）している事項の概要 (自由記入)	対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)	
		なし					

(注) 「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施。

Ⅱ 必要 な 精 度 の 確 保 ・ 向 上 の 観 点	1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
		精度管理の目安として いる指標区分 ※該当するものを選択 (複数選択可)	目安としている指標の具体的な設定内容・考 え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている指標の 設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
		<input type="radio"/> 達成精度(実績精度)	農協等の関係団体への全数調査及び農林業経営体への 標本調査（関係団体の取扱数量が8割未満の都道府県 のみ）を実施することとしているが、主要な都道府県 において関係団体の取扱数量の割合が8割を超え、標 本調査を行っていないことから、実績精度の算出は 行っていない。なお、関係団体への全数調査の回収率 （実績）右記のとおり。	2015農林業センサス 結果を母集団として、 29年産調査実施前に左 記の標本設計を実施	回収率96.4% (令和2年産調査)	回収率92.1% (令和元年産調査)	回収率91.7% (平成30年産調査)
		回収率・回答率					
		回収標本数					
		カバレッジ					
		その他					
		設定なし					